

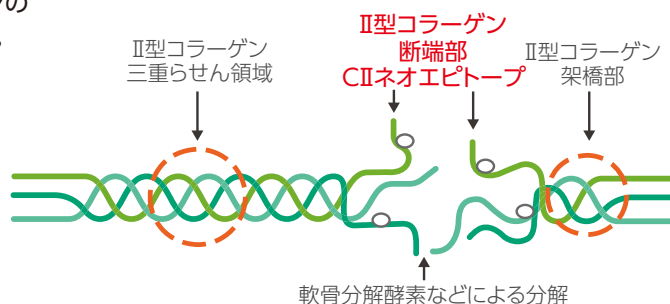
# 尿中CIIネオエpiteープ/クレアチニン比 (CIINE)

## 変形性関節症の早期診断の補助

### CIIネオエpiteープとは

本検査では、軟骨の主成分であるII型コラーゲンの断端部(CIIネオエpiteープ)(図1)を検出します。

(図1) II型コラーゲンの構造とCIIネオエpiteープ

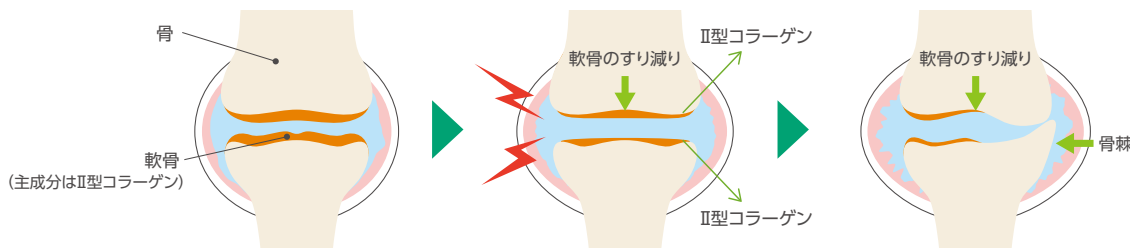


### 変形性関節症とCIIネオエpiteープ

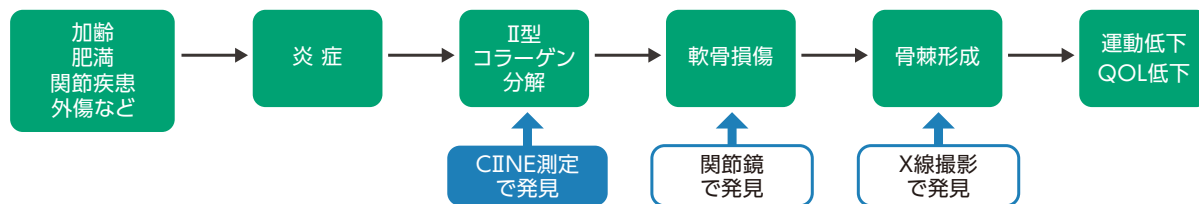
変形性関節症(OA)は関節の軟骨組織が薄くなることで起こる関節の変性状態です(図2)。

慢性的強い痛みを伴うことが多く、健康寿命が有意に短くなることが知られており、根本的な治療法は確立されていません。CIIネオエpiteープは軟骨の変性ととも血中や尿中に放出されるため、運動器に関連した徴候がない早期の段階で適切なOAの検査につなげることができます(図3)。

(図2) OAにおける関節の変性



(図3) 変形性関節症の検査方法と発見ステップ



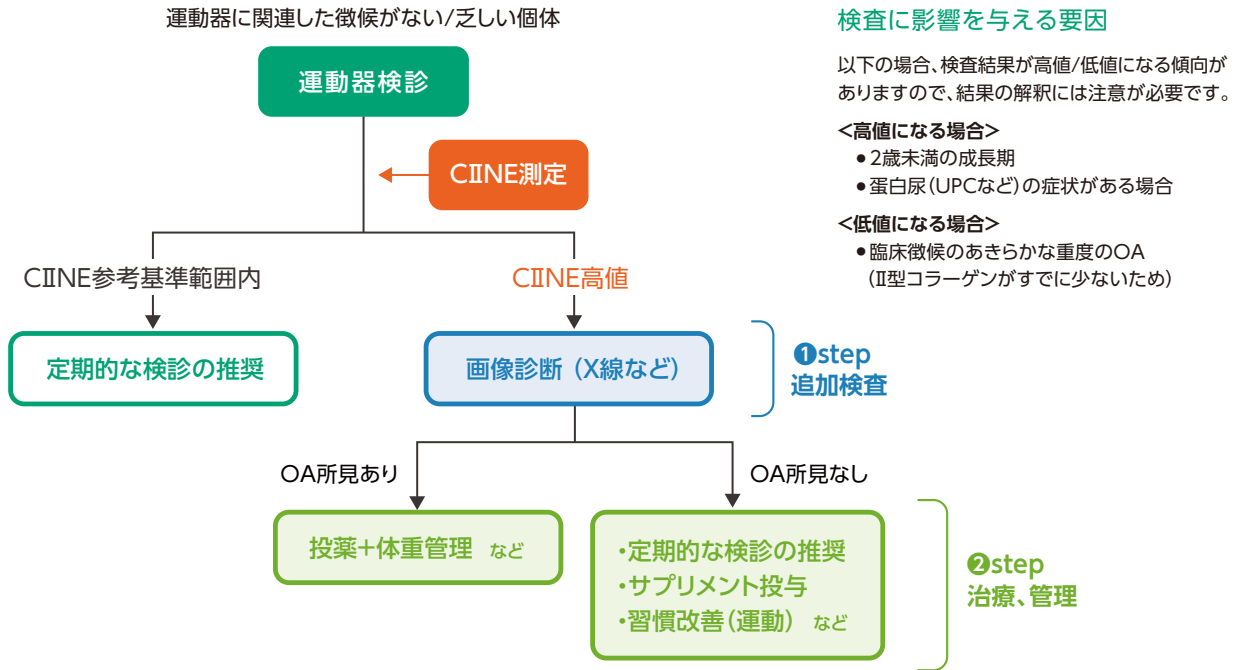
### 検査規格

項目名	対象動物	材料/量 (mL)	保存方法	測定方法	報告日数	参考基準範囲*	単位
尿中CIIネオエpiteープ/クレアチニン比 (CIINE)	犬・猫	尿/1.0	冷	ラテックス凝集法/酵素法	~3	犬: 2.0未満 猫: 0.8未満	pM/mg・Cre

\*物産アニマルヘルス株式会社にて、犬350頭(うちOA99頭)、猫271頭(うちOA26頭)より算出。  
犬: 感度60%、特異度83% 猫: 感度81%、特異度69%

# 検査結果の評価とアクション

参考基準範囲を超えた場合、診断のためにX線などの画像検査による精査をおすすめします。現時点で本検査は治療、重症度の評価に関するデータはございません。画像検査で異常がない場合は、定期的な運動器検診を継続するとともに、早期OAの可能性も考慮し、現在の状況や臨床症状などを踏まえて、生活習慣の見直しやサプリメント投与/フードの変更等をご検討ください。



## CIINEを用いた「動物の運動器検診」のご紹介

